



しおん



～ご挨拶～

こはし よしひろ
医療法人 オアシス 理事長 小橋 芳浩



小郡市美鈴が丘に福岡志恩病院を5月に開設し、早くも5ヶ月が経とうとしております。お陰様で大きな問題もなく順調なスタートができたかと思えます。有り難うございます。

当院は、整形外科、麻酔科、リハビリテーション科を標榜する整形外科専門病院で、脊椎外科、関節外科を中心に最先端医療の提供を目指しております。5月より8月までの手術総数122例、その内脊椎手術58例、関節手術45例です。入院病床数61床で平均入院期間20日となっており、いわゆる急性期病院です。

この度、当院の広報誌を発行させていただくことになりました。当院の特長、スタッフなど病院の雰囲気、病院主催のイベントなどいろいろな情報を発信して参ります。福岡志恩病院を少しでも身近に感じていただき、気軽にご利用していただけますことを願っております。

これからも当院は、あたたかな地域医療を提供できますよう努力してまいります。どうぞ皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

「肩関節疾患の治療について」

いしたに えいち

福岡志恩病院 院長 石谷 栄一



1 肩ってどんな関節なの？

肩関節はヒトの関節のなかでもっとも可動域の大きな関節です。肩甲骨の関節面と上腕骨の骨頭が関節を作りますが、骨の接触は非常に小さく“ゴルフのティーとボール”の関係にたとえられます。

よく動くかわりにとても不安定な関節で「脱臼」しやすい関節です。肩を安定させるために筋肉・腱・靭帯といった軟部組織が骨を覆っています。骨折を除けば、肩の障害はこの軟部組織が傷むことによっておこります。

2 外来で行われる治療

「肩が痛い！」との訴えの中で様々な疾患が存在します。まず、肩関節が悪いのか？ 頸椎疾患からくる肩周辺痛なのか？ 内科疾患（心筋梗塞、肺癌など）からの痛みなのか？ を判断します。

診察にて肩関節に障害がある場合、X線撮影を行い骨形態・病変を調べます。さらに筋・腱などの異常が疑われる場合はMRI検査などを追加します。これら検査により病態（何が原因なのか？）を把握できます。

治療は肩に起きている炎症を抑えるために、内服薬や関節注射などを行います。前述した検査で大きな異常所見がある場合、手術的な治療が必要になる場合もあります。スポーツ障害の肩痛に多いのですが、肩周囲のコンディション不良が原因のこともあります。このような症例にはリハビリテーションにて機能回復訓練をすることで症状が改善します。

< 代表的な疾患例 「五十肩・拘縮肩」 >

五十肩とは肩関節の疼痛と関節可動域制限を主な症状とする疾患で、明らかな外傷やきっかけがなく徐々に疼痛（特に夜間痛）が出現し、肩関節の動きが制限されてくるものを言います。このような五十肩は、痛みの強い時期は注射療法が、痛みが和らぎ関節可動域制限が主たる症状の時期には理学療法が奏功するため、手術に至ることは少ないです。

しかし頑固な痛み・可動域制限が継続する人の場合、手術することにより早期の除痛が得られ可動域拡大による日常生活動作が大変行いやすくなります。また五十肩と同様な症状でも、大きな外傷や骨折などに続発する拘縮（外傷性肩関節拘縮）や、糖尿病に合併した拘縮（糖尿病性肩関節拘縮）などがあります。

手術はすべて関節鏡視下に行ないます。5mm程度の創が2～3箇所、硬く厚くなった関節包と言われる関節の一番内側の靭帯を、一周切離する方法です。

（関節鏡視下関節包全周切離術）

肩関節には他にも様々な疾患があります。御不明な点がありましたら、お気軽に当院医師にご相談ください！



術前：挙上40°



術後：挙上150°

五十肩に対する運動療法

リハビリテーション部長 多々良大輔

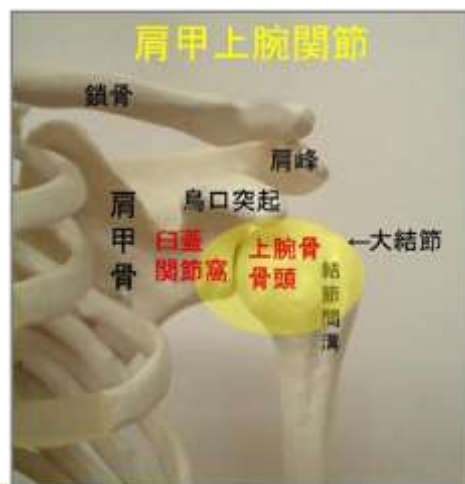
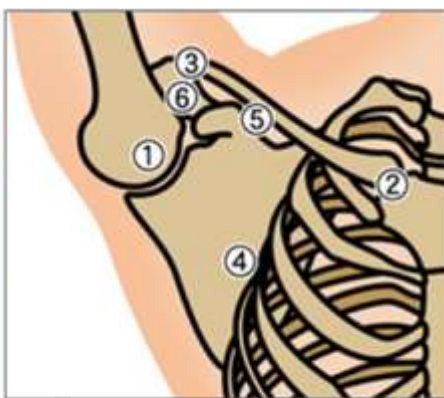
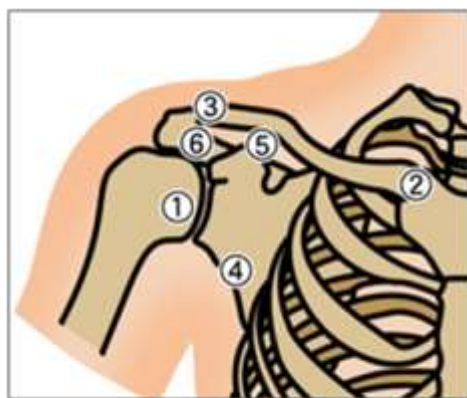


一般的に言われる五十肩(肩関節周囲炎等の総称)は、明らかな原因は不明ですが肩関節の痛みで発症し、次第に痛みが増強し、やがて関節拘縮(骨以外の組織が固まって関節の動きが悪くなる状態)を生じ、肩の機能障害をもたらす疾患です。

40~60歳代に多く認められ、退行変性(老化現象)を基盤に軽微な外傷や血行障害が加わって、腱・関節包・滑液包に炎症を引き起こし癒着性関節包炎や滑液包炎を発生させ、肩関節の疼痛や拘縮をもたらすものと考えられています。

初期には肩の痛みや運動制限を訴え、特に帯を結ぶ動作や外に捻る動作が制限され、次第に万歳動作が困難となります。時に夜間痛で目を覚ますなど訴えもみられます。

診断はレントゲン検査で骨・関節に異常がないことを確認し肩の痛みを伴う運動制限を認めれば確定します。また同様な症状を訴える疾患として腱板損傷や変形性肩関節症等もあります。



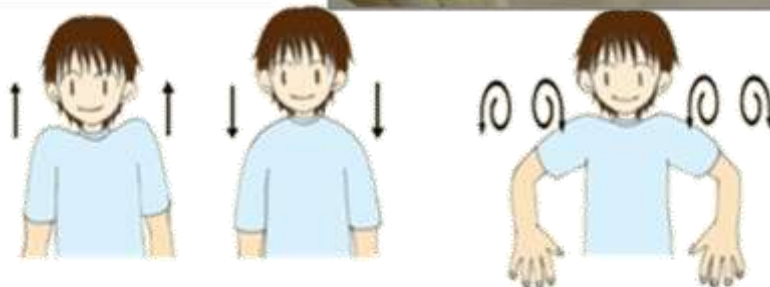
① 肩甲上腕関節 ② 胸鎖関節 ③ 肩鎖関節 ④ 肩甲胸郭機構 ⑤ 烏口鎖骨機構 ⑥ 肩峰下滑動機構

《具体的な運動療法例》

① 耳と肩が一直線になるようにして両肩を上下に動かします。

② 肩をまわして肩甲骨を動かします。

③ 肘を90度に曲げます。上腕が体から離れないようにして肩甲骨を動かします。



※いずれも疼痛が出ない範囲内で!

《日常生活場面で気を付けること》

① 日常生活では痛みのない範囲で肩を動かしてください。

② 強い痛みがある時には症状を悪化させてしまうこともあるため注意が必要です。寝る際には痛い方の肩を下にして寝ないように気をつけてください。

また、就寝時はクッション等を用いて安楽肢位を極力とるようにすることも重要です。

その他、疑問に思われることがありましたら、当院リハビリテーション部スタッフへお気軽にお声かけください!!

※ 掲載している運動に関して、明らかに強い症状がある方が行なうと、より症状を増悪させることもありますので、ご注意ください!

各部門の紹介

★ 看護部 ★

① 病棟

新しいスタッフで病棟作りにわくわくし、不安がいっぱいで始まり、5ヶ月が過ぎようとしています。

看護目標は“心あたたまる看護を提供する”ということで、患者さまに心からおもてなしし満足していただくためには、それぞれの

看護師自身が心から満足していなければならないと思います。そのために環境を整える努力を、いつも考えています。

最近病棟も看護内容が充実し、一つのまとまり形となり始めました。ナース一人一人が個々に自信をもって“自分らしさの看護をしていく”そういう病棟づくりを皆で歩いています。

他部署との連携を深め、チームワークを今以上強めて、患者さまにより安心していただける暖かい病院を作っていこうと皆で力を合わせて頑張っています。



② 外来

外来は志恩病院を知っていただくとても大切な場所です。

外来看護部は、7名のスタッフが笑顔と親しみやすさを大切に他部署との連携を取りながら、患者さんの心に寄り添う看護を目指しております。

ひとりひとりを笑顔でお迎えし、この病院に来てよかったと感じていただけるような質の高い看護を目指して、皆さまの最も身近な看護の提供者として、志恩病院が地域の皆さまのより身近な病院となれるよう、今後も努力してまいります。

③ 手術室

手術室には女性スタッフ6名(1名産休中)と男性スタッフ1名の計7名で業務を行なっています。

外来や病棟の看護師と違い、手術される患者さん以外の方にお目にかかることが少ない部署ですが、毎日元気に明るく頑張っています。

私たちが日々心掛けていることは、『患者さんの安全を第一に考え、安心して手術をうけていただくこと』です。

手術には様々なリスクが伴うため、患者さんの安全を第一に考え、先生方と協力して業務を行っています。また、手術前には手術を受けられる患者さんの病室へスタッフが訪問し、患者さんが少しでも安心して手術を受けられるよう手術時についての説明をし、様々な質問にお答えするようにしています。手術を受けた後に元気になられた患者さんの姿を見るのが私たちの喜びでありまたやりがいでもあります。多くの患者さんの力になれるよう頑張りたいと思います。



★ 放射線部 ★

放射線部は彌永(やなが)、西山(にしやま)、日野(ひの)の3人の診療放射線技師(しんりょうほうしゃせんぎし)で、各種画像診断検査を行なっています。

部署の名前のとおり「放射線(ほうしゃせん)」、その中の「エックス線(X線)」を用いて、エックス線撮影(レントゲン撮影)、透視検査、X線CT検査、骨密度測定などを行なっています。

放射線を使用しないMRI検査(磁石の力を用いる検査)やエコー検査(超音波検査)なども行なっています。

当院は整形外科の専門病院ですので、ほとんどが整形領域の検査ですが、内科疾患(脳・心臓・肺・肝臓・膵臓などの疾患)や泌尿器疾患(腎臓や尿管などの疾患)の鑑別診断、手術前の内科的一般検査、術後合併症(深部静脈血栓症など)の予防・早期発見など、整形以外の検査も行なっています。

安全・正確・迅速をモットーにより良い検査を行なってまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします



★ リハビリテーション部 ★

【当院リハビリテーション部理念】

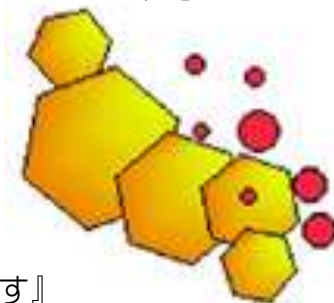
『最先端、高度なレベルのリハビリテーションを提供します』

『患者様各々の症状にあわせ、最適な治療・援助を行います』

『心身が有する自然治癒力を最大限発揮できる身体作りをお手伝いします』

理念としても掲げていますが、病気が早く治りやすい状態、すなわち自然治癒力を促進し、社会・職業復帰、スポーツ復帰のお手伝いをするのがリハビリテーションの役割と考えております。現在、理学療法士7名・作業療法士2名で患者様の対応をさせていただいております。

ご不明な点がございましたら、当院スタッフへお気軽にお声かけください。



★ 事務部 ★

【医事課】

医事課は病院の総合窓口として、患者さまへ提供する医療サービスに関する事務を行なっています。

外来・入院・退院の受付・手続き・精算が主な業務で、医療保険の請求業務なども行なっています。

5名のスタッフで協力しあい他部署との連携を取りながら、患者さまひとりひとりに信頼され、親しまれ、安心して来院いただける病院となるよう、毎日笑顔で努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。



福岡志恩病院 ホームページのご案内

URLは <http://shion-hp.jp/> です。

外来診察担当医師の出張等による休診・変更や、各種イベントの案内、求人情報などを掲載し、随時最新の情報を更新しております。

◆ 薬剤部からのお願い ◆

現在、使用中のお薬(飲み薬、吸入薬、貼り薬、塗り薬、目薬、坐薬、自己注射等)がありましたら、その内容がわかるお薬の説明書、又は、お薬手帳をご持参頂きますようお願いいたします。

入院される際には、ご使用中のお薬について検査や手術等で支障が無いか確認させていただきます。

詳細につきましては、当院ホームページをご覧ください。



★病院へのアクセス★

■お車でお越しの方■

福岡市内より 約45分
久留米市内より 約25分
鳥栖市内より 約15分

■電車でお越しの方■

●西鉄天神大牟田線●

福岡天神駅 ⇄ 三国ヶ丘駅 約30分
西鉄久留米駅 ⇄ 三国ヶ丘駅 約15分

●JR 鹿児島本線●

博多駅 ⇄ 原田駅 約20分
久留米駅 ⇄ 原田駅 約15分



編集後記

福岡志恩病院広報誌「しおん」の編集長・彌永 直(やなが ただし)です。

志恩病院も開院して5ヶ月が経ち、やっと軌道にのってきた感じがする今日この頃です。このたび広報誌を発行するにあたり、多くの患者さまや地域の皆さま方に、より多くの情報を発信してまいりたいと思っております。

さて、広報誌のタイトルの「しおん」ですが、病院名の「志恩」から持ってきたしだいではありますが、「しおん」という音の響き、何となく心地よく感じませんか?(^o^)...そう思うのは編集長の私だけ。。。(^_^;)v

ところで皆さんはシオン(紫苑)という花をご存知ですか? 右の写真のような薄紫の花を咲かせるキク科の多年草で、その花の色から「紫苑」という色名の語源となったそうです。花の咲く時期が中秋の名月と重なるところから「十五夜草」とも言われているそうです。

ちなみに花言葉は「君を忘れず」。。。(^_^)v

花より芋焼酎が似合う“海坊主”でした。次回もお楽しみに。。。v

